



# 繊維・ファッション業界の指針となる SDGs

## 新型コロナ拡大とこれからの SDGs

株式会社オウルズコンサルティンググループ 代表取締役 CEO  
羽生田 慶介

※2020年6月22日付の織研新聞の記事を一部変更して掲載しています

近年世界的に認識が高まり、日本でも取り組む企業が増えている「SDGs(持続可能な開発目標)」。国際的な目標は、日本企業に課せられた「責任」であると同時に新たな「機会」と捉えることもできます。SDGs が繊維・ファッション業界にもたらす影響やビジネスチャンスについて解説します。

新型コロナウイルス感染症の流行は世界中に混乱をもたらしており、SDGs(持続可能な開発目標)にも各方面で大きな影響が出ています。外出自粛とそれに伴う経済活動の停止が CO2(二酸化炭素)排出量の減少につながるなど、環境面での好影響もありますが、大部分は 2030 年までの SDGs 達成をより困難にするものです。

人権の観点から特に注視すべきは、貧困層や子供など社会的に弱い立場に置かれている人々ほど、感染拡大による深刻な影響・被害を受けていることです。世界銀行は、1998 年以来約 20 年ぶりに世界の貧困率が上昇するとの予測を発表しました。ユニセフ(国連児童基金)とセーブ・ザ・チルドレンは、2020 年末までに最大 8600 万人の子供が新たに貧困に追い込まれる恐れがあるとの分析を発表しています。外出自粛の長期化に伴い、家庭内

暴力や児童虐待の増加も各国で報告されています。こういった事態は「誰一人取り残さない」ことを目指す SDGs に逆行するものであり、救済と回復に向けた喫緊の取り組みが必要です。

環境の観点では、SDGs 達成に向けた機運の後退が懸念されます。目標 13「気候変動に具体的な対策を」に関しては、今秋開催予定だった温暖化対策の国際会議・COP26 が延期を余儀なくされました。各国における温室効果ガス削減目標の策定や提出も後ろ倒しとなり取り組みに遅れが生じる見込みです。

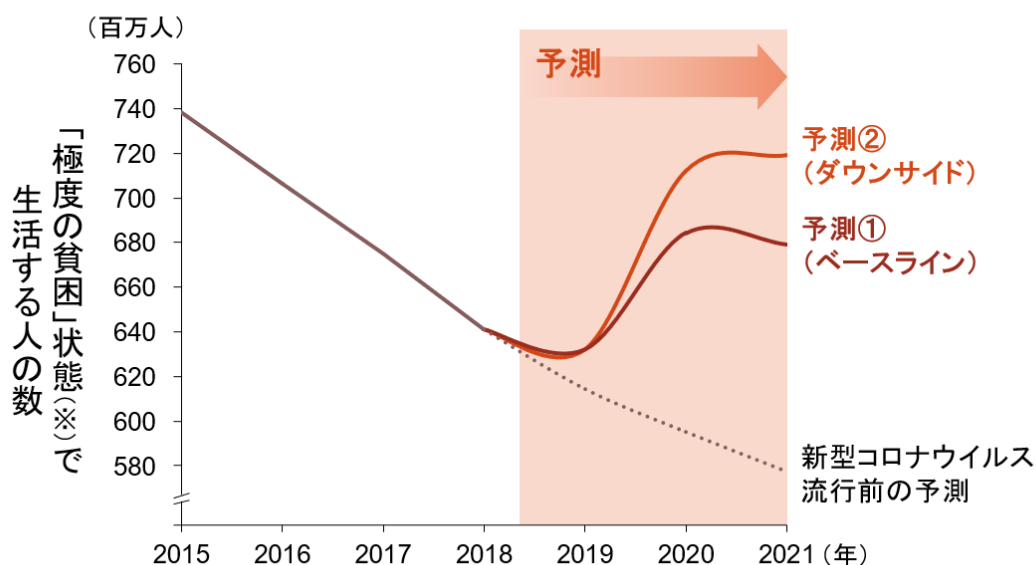
アパレル業界において、特に注意すべきは下請け企業や労働者への配慮です。感染拡大による工場の稼働停止で、立場の弱いサプライヤーが賃金未払い・不当解雇などのリスクに直面している可能性があります。

バングラデシュで行われたアンケートでは、アパレルブランドのサプライヤーの 80%が「納入先からの支払いが遅延している」と回答しています。また、貧困層の増加により、新興国での児童労働や強制労働が増えている可能性もあります。生産工程のグローバル化を進めている企業は、自社のサプライチェーンで同様の問題が起こっていないか精査する必要があります。

今回のパンデミック(世界的大流行)を通じて、一時たりとも止まらない前提で構築されたサプライチェーンや、それに依拠した大量生産・大量消費型ビジネスモデルの限界が可視化されました。今後はよりサステナビリティ(持続可能性)やレジリエンスが重視され、消費者も「一つのことを長く、大切に使う」スタイルに移行することが予想されます。消費者が企業を選ぶ目も一層厳しくなり、人命や人権、環境への配慮が薄い企業は淘汰されるでしょう。

これからは、新型コロナウイルスの流行で後退してしまった SDGs への取り組みをいかに再度強化し、加速させられるかが企業にとって最大のテーマとなります。「誰一人取り残さない」世界の実現に向けて、全ての企業のたゆみなき努力が求められます。

### 全世界における貧困層の人数推移 (世界銀行による予測値)



※「極度の貧困」=一日1.9ドル未満

## 著者



株式会社オウルズコンサルティンググループ  
代表取締役 CEO  
羽生田 慶介 / Hanyuda, Keisuke

経済産業省、キヤノン、A.T.カーニー、デロイトトーマツコンサルティングを経て現職。経営戦略・事業戦略の豊富なコンサルティング経験と規制制度に関する深い理解を背景に官民のルール形成やロビイング支援に注力している。

著書に『稼げる FTA 大全』(日経 BP 社)、『世界市場で勝つルールメイキング戦略』(共著:朝日新聞出版)がある。多摩大学大学院 ルール形成戦略研究所 副所長/客員教授。経済産業省大臣官房臨時専門アドバイザー他、政策検討委員を多く務める。

本資料は一般的な情報提供を目的とするものであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。関連する法令等の解釈を行ったものではなく、利用者が本資料を利用したことによる結果について、株式会社オウルズコンサルティンググループは一切の責任を負うものではありません。

また、書面による株式会社オウルズコンサルティンググループの事前承認なしに、第三者への配布・引用・複製を行うことはお断りしております。

株式会社オウルズコンサルティンググループ

〒106-0046 東京都港区元麻布 3-1-6

<https://www.owls-cg.com/>